



京機会ニュース

No. 24 平成21年(2009年)春号

京機会事務局 〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL&FAX:075-753-5183 URL: <http://www.keikikai.jp/>
E-mail: jimukyoku@keikikai.jp



平成21年春季大会・総会は、中部支部主催により、産業技術記念館(名古屋市)にて、4月18日(土)に、開催いたします。

平成21年度春季大会・総会 ～ LINEUP ～

- 特別企画 -

本年度も、中部地区をお楽しみいただけるよう、支部より、特別企画として、A. トヨタ博物館見学ツアー

B. ミッドランドスクエア展望・近傍散策 C. 産業技術記念館見学と

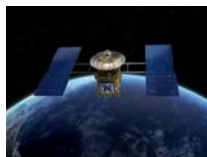
「i-REAL」体験試乗の3プランをご用意しました。お奨めプラン満載ですので、春季大会前の本企画からは是非ご参加下さい。



「i-REAL」

- 特別講演 -

今回は、川口淳一郎氏(S53)による小惑星探査機「はやぶさ」(世界で初の地球圏外天体への離着陸を果たし、2010年6月の地球への帰還を目指して飛行中)についてのご講演とトヨタ自動車の三浦憲二氏(S53)による「トヨタの現場経営」についてのご講演の2題です。



- 懇親会(新人歓迎会) -



本年度は、中部支部のご配慮により、2009年度入社の新社会人には、支部からの歓迎の意を込めて、無料招待となっております。所属支部を問わず新社会人が対象です。また、学生会員や会員ご家族も特別価格にて、設定させていただきました。

- レディース・サポート -

ご同伴の会員ご家族にもお楽しみいただけるよう「サポート」プランも用意いたしました。特別企画終了時から懇親会迄のお時間(14:45～18:00)、皆様の観光のお手伝いをいたします。

- 会場のご紹介 -

産業技術記念館(下写真)とは

産業技術記念館は、トヨタグループ13社が共同してグループ発祥の地である旧豊田紡織本社工場跡に残されていた当時の建物を生かして設立されました。「研究と創造の精神」と「モノづくり」の素晴らしさや大切さを次代を担う人々をはじめ、広く社会にお伝えするための、社会貢献を目指した文化施設です。グループが携わってきた繊維機械と自動車技術の変遷を、本物の機械の実演や解説映像でわかりやすく紹介しています。(右の写真は、豊田佐吉が発明した「環状織機」です。)



「春季大会」の詳細はP.2、「特別企画」「レディース・サポート」の詳細はP.3に掲載しております。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

2009年度は名簿発行年です!

～京機会会費の納入も併せてお願いいたします～

会員名簿の発行は、京機会一つの大きな事業です。名簿は3年ごとに発行しており、今回は平成19年2月に発行しました。今年が新たな名簿の発行の年となり、名簿発行に向けて現在準備を進めております。

はがきでのデータ返信分が、2009年度版最新名簿に反映されます。

各位におかれましては、最新データへの更新をお願いいたします。



同封用紙の「名簿掲載内容」欄にて、ご自身の掲載内容をご確認下さい。名簿不掲載をご希望された場合は、該当項目は空白となります。

「2009年度版最新名簿」は、平成19～21年の京機会会費を完納いただいた方に贈呈いたします。

京機会会費のご納入もよろしくお願いいたします。

九州支部 ～ 春の行事 ～ IN 阿蘇

3月28日(土)～29日(日)に熊本県阿蘇にて、九州支部春の行事を開催します。



今回は、九州支部初の「リカレント講演会」を実施します。詳細はP.11をご覧ください。多数のご参加をお待ちしています。

平成21年度京機会春季大会・総会 開催のご案内

本大会を下記により開催いたしますので、ご出席くださいますようご案内申し上げます。
ご夫婦での参加も歓迎いたします。名古屋観光も兼ねた多数のご出席をお待ちしております。

日時：平成21年4月18日(土)

総会・懇親会 14:45～20:00

中部支部総会を14:30～14:45に開催いたします。
中部支部の方は14:30にお集まり下さい。

会場：産業技術記念館（愛知県名古屋市）大ホール

名古屋市西区則武新町4-1-35 TEL：052-551-6115

JR・近鉄「名古屋駅」下車、徒歩25分または車5分

名鉄名古屋本線「栄生駅」下車、徒歩3分

地下鉄・市バスご利用の方は京機会HPをご覧ください。



行事：

I. ～14:30 特別企画（希望者のみ）

プランA：トヨタ博物館見学ツアー（当日は11:30迄に産業技術記念館にお集まり下さい）

プランB：ミッドランドスクエア展望と近傍散策（当日12:30に名古屋駅前ミッドランドスクエア現地集合となります）

プランC：産業技術記念館見学と「I-REAL」体験試乗（当日は12:30迄に産業技術記念館にお集まり下さい）

特別企画の詳細は、P.3にてご確認ください。

II. 14:30～14:45 中部支部総会（京機会中部支部の方のみ対象となります。）

III. 14:45～16:00 春季大会総会

IV. 16:00～18:00 技術講演会

16:00～「小惑星探査機「はやぶさ」が挑んだ苦難と対応と、将来の太陽系探査について」
宇宙航空研究開発機構 宇宙航行システム研究系 教授 川口淳一郎氏 (S53)

小惑星への往復の航海をめざした探査機「はやぶさ」は、2003年に打ち上げられ、2005年に世界で初の地球圏外天体への離着陸を果たし、現在、2010年6月の地球への帰還を目指して飛行中である。離陸後に生じた幾多のトラブルに対応した歩みを振り返り、チーム一丸で取りくんだ対処の経緯を紹介する。あわせて、将来の太陽系内の惑星、衛星との間の航行を運用していく、「太陽系大航海時代」を展望する。



17:00～「トヨタの現場経営」

トヨタ自動車株式会社 常務役員 三浦憲二氏 (S53)

トヨタ生産方式の基本的な考え方とその具体的な進め方を、実際のトヨタの生産現場で日々行っている改善活動や国内外の仕入先での改善活動を通して分かりやすく説明する。



V. 18:00～20:00 懇親会&新人歓迎会

会費：京機会員 8,000円、同伴者 3,000円、学生 3,000円

平成21年に社会人となられた京機会会員は歓迎会として無料招待です。

●自由な服装でお越しください。

●回答は、4月6日(月)までに、同封のはがきでお寄せください。

同伴者がおられる場合は、はがき回答欄にチェックの上、通信欄に同伴者のお名前も記載ください。

京機会HP (<http://www.keikikai.jp/>) からも、受付できます。WEB受付では、同伴者のお名前が登録できませんので、通信欄にご記入いただきお知らせください。

但し、二重受付登録防止の為、出欠回答は「はがき」か「WEB受付」のどちらか一方でお願いいたします。

★★★ 春季大会 特別企画のご紹介 ★★★

参加費は無料です。大会参加ご回答の際、特別企画プランのご選択（A・B・C）も併せてお願いします。

プランA：トヨタ博物館見学ツアー

トヨタ博物館は、100年に及ぶ自動車文明の業績を、世界中から収集し保存しています。本館には19世紀末から20世紀の自動車の歴史を、約120台の車両により体系的に展示しており、新館では、日本のモータリゼーションの歩みと生活文化の変遷を展示、また文化資料や自動車関連資料も豊富です。名古屋市中心部から車で45分、今回はバスにて皆様をご案内いたします。（お申し込みは、先着45名様に限らせていただきます。）

プランB：ミッドランドスクエア展望と近傍散策

2007年3月に名古屋駅前にオープンした中部地方で最も高いビルです（高さ247m）。展望台スカイプロムナード[®]の入場券をお配りしますので、名古屋の街を一望するスカイデッキ、世界初のシースルー二階建てエレベーターをお楽しみ下さい。ご見学後は徒歩にて会場の産業技術記念館までお越しいただきます。途中「ノリタケの森」（博物館、クラフトセンターなどノリタケの本社敷地内にある陶磁器に関する複合施設）に足を伸ばしてみられてはいかがでしょうか。

プランC：産業技術記念館見学と「i-REAL」体験試乗

展示場への入場券をお配りします。また、今回特別に「i-REAL」の体験試乗が可能となりました。「i-REAL（アイリアル）」は、トヨタ自動車が2007年の東京モーターショーに出展した、一人乗りのコンセプトカーです。パーソナルモビリティの可能性を追求し、近い将来の実用化を目指しています。（「i-REAL」の体験試乗は、当日先着受付順となります。）

★★★ レディース・サポートのご案内 ★★★



総会・技術講演会開催中は、同伴者の皆様を対象に、レディース・サポートを提供します。特別企画終了から懇親会迄のお時間（14:45～18:00）、皆様の観光のお手伝いをいたします。徳川美術館、名古屋城、ノリタケの森など、当日のご要望に応じてご案内します。（全ての方のご要望にお答えできない場合があります。）

～ 学年同窓会開催のススメ ～



高齢の学年では、毎年同窓会を開催し、夫婦同伴で楽しんでおられます。若年層では、皆さん忙しく開催しても少人数しか集まらないのが現状です。しかし、参加者は少数でも、毎年同窓会を開くことに意味があり、それが現在の人的ネットワークの醸成ならびに将来への布石になると思います。そこで、簡単に同窓会を開催できるように、京機会では、下記「**同窓会開催ガイド**」を作成し、去る11月15日開催の評議員会で報告いたしました。

本書が、学年評議員を中心とした各学年での同窓会のご参考になれば幸いです。

- 京大機械系教室の見学 -

教室（工場、CAD室、研究室etc）見学手配をします。

- 京機会室（物理新棟8F 806室）の利用 -

平日、10数名までなら、団欒に利用できます。お茶のサービスがあります。

- その他会場のご紹介 -

①ホテルグランピア大阪（大阪駅前）:06-6344-1235

京機会同窓会パック（6000円、ドリンク込み）があります。京機会HP「御用達店舗」をご覧ください。また、同ホテル社長の平田誠計氏（S43）に相談下さい。

②京都大学時計台記念館会議室：075-753-2285

秋季大会・総会開催時に同時開催される場合は、京機会にて会議室を10時～14時まで4室確保予定です。

③京大会館：075-751-8311

- 桂キャンパスの見学 -

工学研究科総務課広報渉外掛に直接電話で問い合わせ下さい。（075-383-2010、2047）

- 案内状の発送 -

- ①（評議員or評議員経由で）学年名簿を提供します。
- ②e-mail発信、発送用宛名シールの提供が可能です。ただし、e-mailの返信受取先は、各学年同窓会の幹事になります。
- ③京機会ニュース・京機会HP・京機短信に、開催日程を掲載できます。
- ④学年専用メールアドレスを用意しました。同アドレスに送信しますと、自動的に学年評議員へ転送されるしくみです。メールアドレス一覧は、P.6をご参照下さい。

- ご相談・問い合わせ -

京機会事務局、または松久 寛（075-753-5225）が相談にのりますので、遠慮なくご連絡下さい。

桂キャンパスならびに大学以外の会場のご利用については、直接、会場にお問い合わせ下さい。

平成20年度京機会秋季大会・総会のご報告



日時：平成20年11月15日(土)
総会：京都大学時計台百周年
記念館百周年記念ホール
懇親会：同記念館国際交流ホール

平成20年度秋季大会は、一般会員・学生会員・交流会参加者を合わせ400名を超える出席者のもと、盛会な大会となりました。

－ 講演会 －

今回は「若手の起業家」による講演会で総会がスタートしました。



まず、常光瑞穂さん(H9)による「職場のメンタルヘルスについて」では、職場における心の”病”の増加の傾向、鬱病の問題点、職場のストレスに対する取り組みが紹介された。心へのアプローチと体へのアプローチ

についてわかりやすい事例でストレスケアについて紹介いただいた(本講演についてはエッセンスを寄稿いただいたので、P.5をご参照下さい)。

続いて高橋智隆さん(H13)に、「ロボット時代の創造」という演題で、ロボットクリエイターとしての活動の数々を紹介頂いた。高橋さんは学生時代から、美しいロボット、カッコいいロボットを追求し、自分で部品から作りながら、独創的なロボットを世に出してきた。講演ではこれらのロボットを実際に動かしながら、ロボットに対する期待や市場化の道筋など、独自の視点から興味深いお話を頂いた。



－ 総会 －

17:00からは総会がスタートし、吉田代表幹事(S54)の司会のもと、中川会長(S38)挨拶の後、平成20年度活動報告、幹事会&評議員会審議報告、今後の支部行事について、またH21年の春季大会・総会についての概要が説明された。



－ 懇親会 －

18:00からの懇親会は、塩路さん(S50)の司会のもとにスタートし、久保さん(S41)の挨拶のあと、若林さん(S22)の乾杯の音頭のご発声を頂き、参加者一同、食事と歓談を楽しんだ。



途中で学生フォーミュラ活動とスマイルの活動の報告があり、(KART、SMILEの報告はP.12参照)



その後、平成21年度の春季大会の幹事当番となる中部支部の佐々木さん(S52)より総会開催についての紹介があった。最後に吉村さん(S43)よりしめの言葉を頂き、散会となった。

－ 当日の風景 －



秋季大会・総会



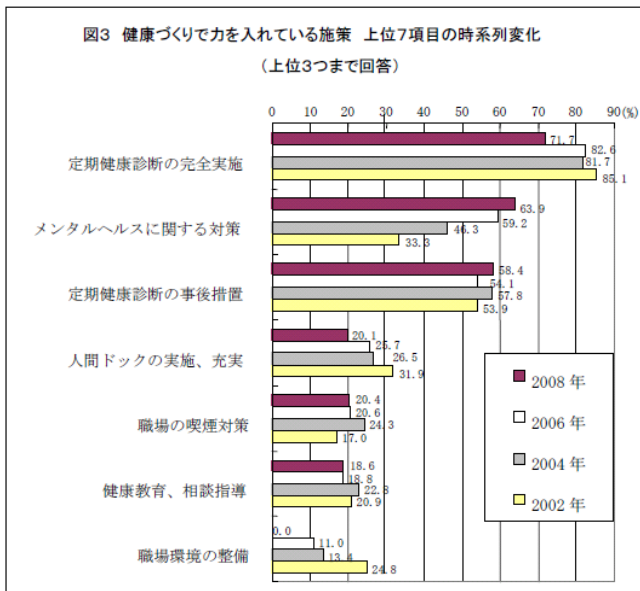
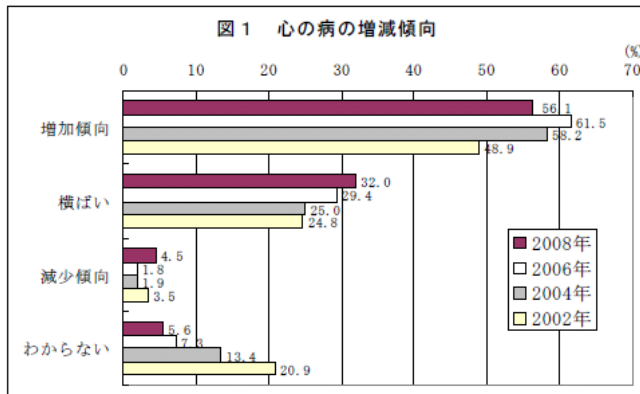
評議員会&幹事会

学生と先輩との交流会

2008年秋季大会・総会講演：「職場のメンタルヘルス」

2008年11月15日京機会総会にて「職場のメンタルヘルス」についてお話をさせていただきました。その内容を抜粋してご紹介させていただきます。

職場のメンタルヘルスを取り巻く現状を、社会経済生産性本部「メンタルヘルスの取り組みに関する企業アンケート調査」(全国の上場企業およそ2000社の人事労務担当者に実施)から見てみます。



従業員の心の病が増加傾向と答える企業が多く、メンタルヘルス対策に力を入れる企業が増えています。

また、心の病による1ヶ月以上の休職者がいるという企業も、58.5% (2002年) → 66.8% (2004年) → 74.8% (2006年) と、年々増え続けています。このようなデータを見ると、「嫌な時代になった」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、私はそうは思いません。心の病に対する認識が定着してきて、きちんと認知されるようになり、病気になったときには休職して治療に専念できる環境が整いつつあるということなのではないかと思います。

心の病による休職者のほとんどが「うつ病」あるいは「うつ状態」という診断名での休職だというデータがあります。うつ病は、厚生労働省の調査でも“15人に一人は一生のうち1回はうつ病を経験する”というくらい、非常に罹患率の高い病気です。そのように誰

もが高い確率でかかる可能性のある病気が、認識不足によりきちんと治療ができず、退職を余儀なくされたり、病気を抱え、十分なパフォーマンスが発揮できない状態で無理して勤務を続けなければならないとすれば、本人にとっても、企業にとっても損失は計り知れないでしょう。

また、「メンタルヘルス対策」というと、“病気になってからどうするか”ということに目が向きがちになりますが、一番大切なのは“病気にならないように、どう健康維持するか”という予防です。そのためには個人にもきちんと自分のストレス状態を把握し、心身の健康管理をするスキルが求められますし、企業にも健康が維持できる職場環境をどう作り、いかに疾病発症を防いで生産性を高めていくのかということが求められるでしょう。

私は年間200人近くのビジネスパーソンの方々のご相談をお受けしていますが、中には「とても忙しくてストレスケアどころではない」と言う方もいらっしゃいます。しかし、ストレス社会と呼ばれる現代、忙しくて重要な立場にある方ほど、「心のメンテナンス」は、必須スキルなのです。車庫にずっと眠っている車なら、メンテナンスしなくても支障はありませんが、毎日高速を飛ばす車がメンテナンスなしでは恐ろしすぎますから。

最後に、30秒でできるストレス対処(呼吸法)をご紹介します。ストレスなんか感じる暇もないほど忙しいという方ほど、ぜひ、心のメンテナンス役立ていただければと思います。

◆ハーツ!の呼吸法◆

おなかの空気を全部だすような気持ちで「ハーツ!」という声とともに息を吐く。吐くことだけを意識して2、3回続ける。



今度は、自分の中にある疲れや憂鬱な気分、不安、怒りイライラなど、ネガティブな感情が、「ハーツ!」という声とともに外へ吐き出されるのを想像しながら息を吐く。一回吐き出すとともに、ネガティブな感情が減って、身体の中がきれいになっていくというイメージを思い描く。

だまされたと思って、毎日寝る前にネガティブな気持ちを「ハーツ」と吐き出して寝てみましょう。たったこれだけのことで、睡眠の質が改善したり、スッキリするという方も多いです。

常光瑞穂 (株)ライフキャリアサポート 代表取締役



平成9年伝熱研卒。機械設計エンジニアとしてメーカー勤務の後、大学に編入学し、心理学を学ぶ。現在は産業カウンセラーとして、主に労働者に対する相談対応(メンタルヘルス相談及びキャリア相談)他、企業研修や企業に対するメンタルヘルス対策推進の為のコンサルテーションを行っている。

平成20年度京機会評議員会報告

平成20年11月15日、総会と同日に評議員会を開催いたしました。今回は、初の試みで幹事会と評議員会の合同開催となりました。

会議のほとんどの時間は、「会費納入率UP」に関する自由討論が中心となりました。

概ねこれまでの幹事会でも繰り返されてきた種々の意見も出され、そのスペクトルは極めて広いものでした。(会費に見合うサービスをどのように提供できるかとする立場もあれば、同窓会にそのようなものを期待すること自体が過分であり無意識のうちに有形無形の機会が与えられているとする立場もあるなどの声が挙がりました。)

学年名簿は、学年評議員もしくは学年評議員経由で事務局に請求すれば提供できる旨の報告があり、また、「同窓会開催ガイド」(学内会議室の予約や諸アレンジを一体化したものを)準備したので、積極的に活用願いたいとの報告もありました。

●「同窓会開催ガイド」は、P.3をご参照下さい。

今回の開催が大変有益であったため、平成21年度以降も幹事会との合同開催となる予定です。

現在の学年評議員は下記一覧をご参照下さい。

なお、学年評議員には、4月に平成21年度評議員就任継続依頼をお送りさせていただく予定です。



平成20年度京機会学年評議員(敬称略)

卒業学年	氏名	登録	E-Mail	卒業学年	氏名	登録	E-Mail	卒業学年	氏名	登録	E-Mail
1945	谷口 浩	無		1966	中嶋 邦彦		1966hyogin@	1988	玉川 雅章		1988hyogin@
1946	大矢根守哉		1946hyogin@	1967	藤川 卓爾		1967hyogin@	1989	石谷 善博		1989hyogin@
1947	岸本 雅夫	無		1968	迫 勝之		1968hyogin@	1990	水山 元		1990hyogin@
1948	岐美 格	無		1969	小谷 重遠		1969hyogin@	1991	若林 英信		1991hyogin@
1949		無		1970	各務 嘉郎		1970hyogin@	1992	岩前 敦		1992hyogin@
1950	森川 龍一		1950hyogin@	1971	三津田恒夫		1971hyogin@	1993	岩井 裕		1993hyogin@
1951	吉川 和彌		1951hyogin@	1972	秋山 雅義		1972hyogin@	1994	茨木 創一		1994hyogin@
1952	鈴木 正直		1952hyogin@	1973	佐々木美樹		1973hyogin@	1995	小森 雅晴		1995hyogin@
1953日	乾 宰人	無		1974	閑納 真一		1974hyogin@	1996	泉井 一浩		1996hyogin@
1953	西田 弘		1953hyogin@	1975	山西健一郎		1975hyogin@	1997	佐野 智一		1997hyogin@
1954	下田 隆二		1954hyogin@	1976	杉江 俊治		1976hyogin@	1998	鶴飼 宗紀		1998hyogin@
1955	田中 道七		1955hyogin@	1977	中井 善一		1977hyogin@	1999	佐藤 紘一	無	
1956	橋本 昌		1956hyogin@	1978	上原 一浩		1978hyogin@	2000	小田 豊		2000hyogin@
1957	福森 康文		1957hyogin@	1979	坂口 保彦		1979hyogin@	2001	土井謙太郎		2001hyogin@
1958	野田 忠吉		1958hyogin@	1980	小寺 秀俊		1980hyogin@	2002	金田 靖弘		2002hyogin@
1959	柴田 俊忍	無		1981	榎木 哲夫		1981hyogin@	2003	吉富 聡		2003hyogin@
1960	松木 健次		1960hyogin@	1982	上井圭一郎		1982hyogin@	2004	中安 祐貴		2004hyogin@
1961	四方 光夫		1961hyogin@	1983	永瀬 豊		1983hyogin@	2005	向 朋作朗		2005hyogin@
1962	伊藤俊太郎		1962hyogin@	1984	横小路泰義		1984hyogin@	2006	中務 陽介		2006hyogin@
1963	中川 哲		1963hyogin@	1985	新井 聡	無		2007	北川 優太		2007hyogin@
1964	垣野 義昭		1964hyogin@	1986	蓮尾 昌裕		1986hyogin@	2008	鯨岡 絵理		2008hyogin@
1965	細田 史朗		1965hyogin@	1987	川上 浩司		1987hyogin@				

- 該当メールアドレスへ送信すると、学年評議員の京機会登録メールアドレスに自動転送されます。
- E-mailの@の後ろは「keikikai.jp」を入れて下さい。
- 本内容はある種の個人情報です。お取り扱いには十分にご留意下さい。
- 上記一覧の「登録」項目に「無」と記載されている場合、現時点では本連絡システムはご利用いただけません。
- 本連絡システムに対するご質問・ご意見ならびに学年評議員に関するご質問は、京機会事務局(TEL:075-753-5183 E-Mail:jimukyoku@keikikai.jp)までお寄せ下さい。

会計関連のご報告とお願い

会費納入のお願い

平成21年度会費 3,000 円の納入をお願いします。

同窓会を維持し、また、京大の機械系教室の現役・OBが一体となって、日本を支えている製造業を推し進めてゆく活動は、会員の皆様から納入される会費を基盤としております。是非、会費納入にご協力ください。会費ならびに寄付ともに同封の振り込み用紙をご利用下さい。振込用紙は返信はがきと一体となって印刷されております。会費納入の際には、会費最新状況お知らせ欄に記載されている納入状況を今一度ご確認ください。

本年度以前の会費が未納の場合には、ぜひ本年度分と併せて納入下さい。また、ご寄付をいただける場合や永年会員登録には、必ず金額等を所定欄にご記入いただきますようお願いいたします。

平成19～21年度会費をご完納いただいた会員には、「2009年度版最新名簿」を贈呈いたします。なお、京機会名簿は贈呈のみで販売はいたしません。



京機会名簿にかかるご連絡は、京機会からのみ行っております。類似の問い合わせにはご注意ください。

寄付のお願い

本会では寄付をお願いしております。前号以来、右記に記載いたしました方々からご寄付をいただいております。ご報告申し上げると共に、厚く御礼申し上げます。引き続き、皆様方には、寄付へのご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成20年度ご寄付者 (H20. 9. 13～H21. 2. 28)

高崎 秀雄様(1944)	伊東 良太様(1945)
鳥海 千尋様(1957)	仁科 稜三様(1958)
中川 哲様(1963)	垣野 義昭様(1964)
久保 愛三様(1966)	中西 清様(1968)
山下 彰夫様(1970)	山口 美賀様(2003)

★永年会員登録のお勧め★

1972年以前のご卒業(60歳以上)の会員は、永年会費60,000円を納入することにより、その後の年会費はなく生涯京機会員サービスを受けられます。積極的にご登録下さい。(但し、登録に際し既払込会費の返金はいたしません。)

★京機会費自動引落のお勧め★

振込みの際の手間を省くため、京機会年会費自動引落対応も実施しております。

従来は、銀行引落のみでしたが、本年度より“ゆうちょ銀行”の利用も可能となりました。申請用紙は、毎年、京機会ニュース春号(本号)に同封しております。また、京機会HPからも、いつでも出力いただけます。是非ご利用下さい。

なお、ご利用時は下記注意事項をご確認ください。

- ①申請依頼書は、京機会事務局宛にご郵送下さい。
- ②4/20までに事務局に到着した申請書は、新年度会費分として引き落としされます。
- ③4/20以降到着は、次年度の対応となります。
- ④振込手数料は、京機会負担です。

教員の異動

退職

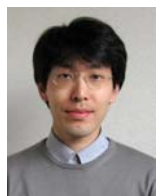
◆吉村允孝教授：平成21年3月31日 定年退職予定
最終講義が開催されます。「会員のページ」を参照下さい。

就任

◆嶋田隆広助教：H16京大・工・物理卒、H18同大学院工学研究科・修士課程修了、H20同博士後期課程修了、H20. 10. 1本学機械理工学専攻助教。材料の機械的特性と変形にともなう電氣的性質の変化(マルチフィジックス特性)に関する第一原理計算の研究に従事。



◆市川和秀助教：H12東大・理・物理卒、H17同大学院理学系・物理・博士課程修了、博士(理)、同年東大宇宙線研究所拠点形成特任研究員、H20日本学術振興会海外特別研究員(ロンドン大)、H20. 10. 16本学・工・マイクロエンジニアリング専攻量子物性学分野助教。現在の専門は量子化学・計算化学。特に、化学結合や化学反応の場の理論を基にした定式化による理論的・数値計算的研究。



異動

◆塩瀬隆之助教：平成20年11月1日

京都大学総合博物館へ



平成21年度は、異業種交流会、産学懇話会、MOT研究会等の活動内容の充実をはかり、大学・企業の連携を強化して参加層の拡大に努め、中核支部として、より活気のある関西支部を目指します。

平成21年度支部総会・新年会の報告

日時：平成21年1月10日(土) 17:00~21:00
場所：ホテルグランヴィア大阪

■支部総会(17:00~18:45)

平成20年度の支部各種活動(異業種交流会、産学懇話会、京機サロン(MOT研究会)、京機会MOTセンター(KMC))の報告を行った後、平成20年度決算、会則変更議案、平成21年度役員、活動計画、予算の審議を行い、原案通りに可決されました。支部長は新たに平田誠計氏(S43)が、新事務局長に北野幸彦氏(S56)が就任しました。

また今年度は新企画として講演を併催。京都大学大学院工学研究科 吉村允孝教授(S43)による「モノ作りを活性化し不機嫌を解消するコラボレーション理論」という演題で、昨今の厳しい経済環境下における会員の各界での活動に希望と勇気を与えるお話をいただきました。



■平成20年度新年会(19:00~21:00、出席者128名)

当番会社：パナソニック電工(株)

当番会社代表奥平有三氏(S53)の開会挨拶に続き、平田新支部長挨拶、来賓中川哲京機会会長(S38)、大学代表松久教授(S45)の近況報告、そして参加者最年長の三瀬氏(S16)のご発声による乾杯を行った後、世代を越えての交流・宴会に入りました。途中、中部支部の中西支部長(S43)からの支部活動PR、今年の新人紹介(3名)、学生フォーミュラー「KART」の活動紹介、「琵琶湖周航の歌」斉唱があり、大いに盛り上がりました。

最後に次期当番会社である大阪ガス(株)三津田氏(S46)と昨年度支部長川辺氏の挨拶のあと歴代の支部長が壇上にあがり、初代支部長永井将氏から関西支部の活発な現況を慶賀する挨拶を頂き、今後一層の発展を祈念して全員での万歳三唱で締め、終始賑やかで活気に満ちた新年会となりました。



平成20年度下期活動報告

■第27回異業種交流会

日時：平成20年11月26日(水)14:00~
会場：パナソニック(株)高度生産システム開発カンパニー
参加人数：47名

講演：

- ① 家庭用燃料電池コージェネレーション開発
寺西正俊氏(生産革新本部, H1)
 - ② 固体酸化物形燃料電池(SOFC)による高効率発電
岩井 裕氏(京都大学, H5)
 - ③ パナソニックの薄型テレビ戦略
長野寛之氏(パナソニックAVCネットワーク社, S53)
- 懇親会：松心会館にて(46名)



■産学懇話会

第29回：平成20年7月26日(土) 参加者数：21名

- (1) 「シリコンは優れた機械材料なのか？」
土屋智由氏(京都大学, H3)
- (2) 「吸振器による制振 - 安い, 易い, 丈夫で長持ちの制振法」
松久寛氏(京都大学, S45)
- (3) 「エレベーターを支える最新技術」
宇都宮健児氏(三菱電機(株), H8)

第30回：平成21年2月21日(土) 参加者数：38名

- (1) 「新幹線高速化の軌跡 - 沿線環境や空力的課題への挑戦」
眞下伸也氏(JR西日本(株), S61)
- (2) 「ガスの安全を支える - マタ部品開発の歩み -」
名和基之氏(パナソニック(株), S44)
- (3) 「8年間の特許紛争顛末記」
松久寛氏(京都大学, S45)
- (4) 「人工関節開発秘話」
富田直秀氏(京都大学, S54)

■京機サロン(MOT研究会)

第33回：平成20年8月2日(土) 国立文楽劇場

参加者 29名 恒例の文楽鑑賞会

演目は、「お夏清十郎・五十年忌歌念仏」、「鑑の権三重帷子」

第34回：平成20年11月28日(金) 大阪弥生会館

参加者 37名 講師に著名な起業家 千本倅生氏

(イー・モバイル(株)会長兼CEO)を招聘して開催
講演：「イー・モバイルとベンチャー経営について~安定捨て5度起業に挑む~」

第35回：平成21年1月16日(金) 山本能楽堂

「能楽師・山本章弘氏が語る、能入門講座」
大阪商工会議所主催の行事に協賛する形で開催



支部だより

■京機九日会

平成20年10月9日「宝石の話」 中谷征司氏 (S37)

平成21年2月9日「音階の話」 尾谷博敏氏 (S23)

■京機会MOTセンター(KMC)

KMCの活動概要(8月～12月)

運営委員会2回開催(9月1日、10月29日)

キャリアグループ会議開催(10月7日)

KMC総会(12月20日(土))の開催と概要

(i)体制：中谷新会長以下10名の新役員(21年度)が承認された。

(ii)20年度の活動報告

・ビジネスマッチング分野：

マッチング協力件名→25件(継続中→数件)

市場調査、技術調査件名→5件

・人材紹介分野：

一般求人紹介協力→10件

特許先行技術調査員募集協力

・TSI社の委託業務。京機サロン講演会の支援。

(iii)21年度の活動

KMCの組織を改正し、ビジネスマッチング部、人材マッチング部、インキュベーション部の3部制を採用し、これまで以上に成果の得られる活動を行なうことが承認された。

関西支部今後の活動予定

■京機九日会

平成21年度は昭38年卒組が幹事を勤めます。ご参加お待ちしております。

場所：中央電気倶楽部

4月9日(月)「どうしようもない人間の限界について」 久保愛三氏(S41)

6月9日(火)「体操競技-その魅力と工学的アプローチ」 名和基之氏(S44)

8月10日(月)「船用ゲージ機械の技術発達史外観」 中村陽一氏(S38)

10月9日(金)「京都大学の全学共通教育(教養教育)について」 北村隆行氏(S51)

■京機・京都の会

京都近辺の京機会会員交流会を3、7、9、12月の第一土曜日、ウェスティン都ホテル(三条、蹴上)で11時から開催しています。

平成21年の講演予定は、

3月7日(土)「以柔制剛」(機械の潤滑・心の潤滑) 林 和宏氏(S41)

7月4日(土)「西原先生の業績について(仮題)」 小浜弘幸氏(S32)

・9月5日と12月5日は未定

参加希望者は幹事の元田、西脇まで連絡下さい。

★下記会合の詳細は、別途HPまたはメールにてご案内いたします。

■第28回異業種交流会

会場は未定ですので、ご希望あれば事務局まで！

■第31回産学懇話会 日時、場所未定

■第36回京機サロン 未定

中国・四国支部からのお知らせとご報告

平成20年度 地区別交流会の報告

①岡山地区交流会(平成20年10月3日)

参加者8名/JR倉敷駅近くの料理店『白壁』にて開催。

会員相互の親睦を深めました。



②広島地区交流会(平成20年11月1日)

参加者14名/JR広島駅近くの『磯の坊』にて開催。

交流会に先立って、「支部運営会議」を行ない、支部活動の中間報告、平成21年度支部総会の実施計画の策定、本部における懸案事項の伝達と討議がなされました。

平成21年度 支部総会および異業種交流会

1)日時：平成21年2月28日(土) 13:00～19:30

2)場所：RCC文化センター/オリエンタルホテル /広島市民球場(新・旧)

3)概要：活動報告・役員改選/講演会/見学会 /懇親会/支部運営会議(12:00～)

4)幹事企業：マツダ(株)殿



当日の様子は、2009秋号でご報告いたします。



関東支部総会・新年会の報告

日時：平成21年1月24日(土) 16:00～
場所：日立金属高輪和彊館(わきょうかん)
参加人数：総会72人、新年会66人

■総会：16:00～17:30 下記講演含む
「楽しい鉄道模型」

駒井謙治郎氏(S38) 京都大学名誉教授

支部総会では支部長挨拶、来賓挨拶の後、20年度の活動内容報告、会計報告、21年度の支部役員承認(右記)が行われた。引き続き駒井氏より鉄道模型に関する講演がなされ、精緻でこだわりの中に機械技術者・研究者としての蘊蓄をご披露頂き、感嘆の聲が上がった。



■新年会：17:30～19:30

新年会では、小澤顧問(S33)のご発声による乾杯の後、九州支部、関西支部、中部支部より支部長のご来賓挨拶・支部活動報告を頂いた。

懇談の最後に学生時代に戻り、全員で琵琶湖周航の歌を合唱した。



<平成21年度関東支部役員>

- 支部長 若園 修(S42)
副支部長 熊澤正博(S43)、吉田英生(S53)
副支部長(新任) 江上秀男(S44)
顧問 小澤三敏(S33)、二宮 敏(S33)
監事(新任) 長田守弘(S50)
事務局長(新任) 安井良次(S59)
事務局次長(新任) 増本雄治(S48)

中部支部からのお知らせとご報告

学生工場見学会

技術交流会・懇親会の報告

日時：平成20年9月25日(木) 14:00～20:30
工場見学：(株)豊田自動織機 高浜工場
講演会・懇親会：(株)豊田自動織機 シャインズ
講演：「新世代電気自動車 i MiEV の紹介」

三菱自動車工業(株) 橋本徹 氏(S53)

恒例の現役学生中部地区工場見学の日程にあわせ、OBとの交流会を開催しました。

OBが合流した工場見学では、フォークリフトをはじめとする最新の物流機器の生産工場を見学、基本の運搬・走行性能を迫及したメカニズム、物流の用途に応じた製品の多様性にあらたな驚きを覚えました。



話題の電気自動車の講演では、競い合う他社からの参加も多く緊張した面持ちでスタートしましたが、次第に開発苦労話が技術者の共感呼び、聴講者も一体となった熱い質疑が飛び交いました。そのまま年齢を超えた懇親会に突入、楽しい時間を過ごしました。



橋本 徹さん(S53)のお話
熱心に聴き入る学生、OBのみなさん



学生 22名、先生 2名、OB 25名が参加した懇親会



平成21年度京機会春季大会・総会を、
中部支部主催にて開催いたします。
(詳細は表紙、P.2、P3を参照ください)
多数のご参加をお待ち申し上げます。



H21春の行事のご案内(決定分)

1泊2日の春の行事を開催いたします。ご家族のご参加、他支部の皆様のご参加も大歓迎です

◆日 時：平成21年3月28日(土)～29日(日)

◆場 所：三菱重工阿蘇高原クラブ

〒869-1411 熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字河陰5-35
TEL：0967-67-3100

◆会 費：宿泊費・懇親会費含めて約10,000円

◆当日(3月28日) 行事：

①リカレント講演会 15:00～17:00 ZF研修室

九州支部初の「リカレント講演会」を実施します。

<テーマ> エネルギー・資源誌2009年新春メール討論
「地球温暖化：その科学的真実を問う」

－ コーディネーターからの緊急報告 －

<講師> 吉田 英生氏(京都大学、S54)

○詳細は下記第二世紀リカレント講演会記事をご覧ください。

②支部ミーティング 17:10～17:30

③懇親会 18:30～20:30 3Fレストラン「いんどろ」

◆翌日(3月29日) 行事

(1) ゴルフ大会 8:00出発

阿蘇東急ゴルフクラブ 9時スタート

代金 キャディー乗用カート付 ¥13,100.-/人

(2) 観光 9:00出発

①阿蘇中岳ドライブ登山

②「ヤマメの里」えのはの家(宮崎県西臼杵郡)での昼食

③その他希望により、高千穂峡など

◆参加申し込み方法：

同封はがき回答欄、もしくは京機会HP (<http://www.keikikai.jp/>)での登録にて申し込み願います。

H21秋の行事のご案内(計画中)

1. 月日：平成21年10月31日(土)

2. 場所：北九州市エコタウン

3. 行事：見学会、総会、懇親会

H20秋の行事の報告

平成20年10月25日(土)、長崎にて九州支部のH20年度秋の行事を開催しました。長崎歴史文化博物館で総会・講演会・ミニコンサートをを行いました。京機会本部の川口前会長(S34)他のご参加を得て、総勢18名集まりました。

井手副支部長(S52)の講演「芸術のための科学技術」が行なわれ、井手副支部長が開発した超高分解能超精密スキャナによって日本各地の国宝級文化財の保存作業をしている様子が紹介されました。



続いて、博物館のエントランスホールにて、ボランティアの音楽家によるミニコンサートが開催されました。講演会とミニコンサートは会員以外の一般の人々にも開放されました。

丸山町の料亭青柳に移動して、懇親会を開催しました。有志は昭和レトロのカラオケ店「裏町人生」で二次会を楽しみました。



第二世紀記念事業 リカレント講演会

第二世紀記念事業会では、各地の支部会合の折に、リカレント講演会を開催しています。

平成21年度は、1月24日(土)に吉田英生さん(京都大学、S54)の講演を関東支部総会同日に開催しました。同講演は、好評により、3月開催の九州支部会合でも開催が決定しております。講演概要は右記参照。



新春e-mail討論：講演リカレント記事 → <http://www.jser.gr.jp/>

今後も、各支部会合の折に開催予定です。

講師や講演のご要望があれば、第二世紀記念事業会事務局(連絡先：京機会事務局)までご連絡下さい。

地球温暖化：その科学的真実を問う

Global warming: What is the scientific truth?

地球の気候は、地球の大気・海洋・大陸に加えて太陽系全体もが関係する極めて複雑なシステムといえます。そして、空間スケールも時間スケールも異なるさまざまな物理過程や化学過程が重畳し、しかもそれらが単純な重ね合わせになるとは限らない、いわゆる非線形な現象であるため、多くの専門家の英知を結集しても、その正体はなかなかわからないというのが実情です。このため、昨今、全人類の注目を集めている地球温暖化については、長年の議論を経た現在でも未だに諸説があります。

本企画では、それぞれの立場や視点は異なるものの地球温暖化の科学に関する第一人者の方々にご登壇いただき、最新の研究成果に基づいた貴重なe-mail討論を実現していただきました。

コーディネーター：吉田英生

学生会SMILEからのお知らせとご報告

本年度の活動報告をさせていただきます。

学生と先輩との交流会

平成20年11月15日、京都大学物理系校舎にて学生と先輩との交流会を実施しました。交流会には113社、約200名の先輩方と約250名の機械系学生が参加しました。交流会では、各企業様のブースを中心に活発な交流が行われました。交流会後は総会にご出席された方と合流し、時計台記念館で懇親会を行いました。懇親会ではお酒を飲み交わしながら、幅広い世代の交流が行われました。

交流会は今年度のメンバーにとって初めての大きなイベントでした。運営や準備等で至らなかった点もあったかと思いますが、皆様のご支援・ご指導のもと、交流会を成功させることができました。ここに厚く御礼を申し上げます。



ためになる講演会&忘年会

平成21年2月16日に、森本教稔様(野村総研、S56)をお迎えして、学部生(学生会員)を対象に、社会・経済情勢などをテーマにした講演会を開催しました。その後、学生間の交流を深めるため、「忘年会」と称しての懇親会も開催しました。

関東工場見学のご報告

平成21年2月23～24日に、1泊2日で関東工場見学を実施しました。富士フィルム様、三菱重工業様、IHI様、JFEスチール様の4社を見学させていただきました。工場見学後は懇親会を行いました。

工場見学や懇親会を通して、関東でご活躍されている先輩方と交流を深め、学生の将来の可能性を拓けるいい機会となりました。



学生KRATからのお知らせとご報告

平成20年9月10日から9月13日まで行われた第6回全日本学生フォーミュラ選手権大会では、燃料系のトラブルに泣き、総合15位という悔しい結果に終わってしまいました。その悔しさをバネにチームの結束力を高め、私たちは次の第7回大会に向け活動しております。

10月に発足した新体制では、これまでリーダーは4回生が務めておりましたところを、今年度から3回生が務めることとなり、若返った活気あるチーム作りを目指しました。これは昨年度より工作機械を扱うことのできる学年が1つ下がり、機械加工のできるメンバーも増えたおかげです。設計のみを行い製作は他に任せるメンバーが多かった従来とは異なり、自ら設計した部品を自ら製作するという、「ものづくり・デザインコンペティション」という大会の趣旨を体現した活動が行えております。

今回我々は、車両の早期完成と運動性能向上のための一つの指針として、コンセプトに“Easy makingとマスの集中化”を掲げております。これは前回の車両で加工工程の複雑なパーツが多く、

最後には時間が不足し、細部の詰めが甘くなってしまったことと、足回りの限界性能、特に旋回性能が低く、すぐにスピンしてしまう車両だったことを受けてのコンセプトです。

9月の大会に向け、春季休暇中も順調に製作作業が続き、昨年度を上回るペースで製作が進んでおります。前回大会の無念を晴らし、表彰台を狙うため、チーム一同ほとぼしる情熱を傾け、製作に邁進してゆきますので、どうか今年も我々KARTに応援の程宜しくお願い致します。

京都大学フォーミュラプロジェクトKART
2009年度プロジェクトリーダー 中澤知哉(B3)
KART#66 -ジ :http://www.formula-kart.org/



先輩から学生の皆様へのメッセージ (6)

徳田貴司氏の略歴：小寺研出身。H15年学部卒、H17年修士卒。同年シャープ(株)に入社。現在まで複写機の機構開発・設計に従事。



学生の皆様、はじめまして。小寺研(現ナノメトリックス工学研究室)卒の徳田と申します。現在社会人4年目で、複写機の主に感光体周りの設計開発を行っております。本メッセージが皆様の今後に役立てば幸いです。

最初に、学生時代の研究内容を紹介します。私は学部4回生で小寺研究室に入ってから大学院を卒業するまでの間、「心筋細胞の電気的特性を、MEMSデバイスを用いて計測する方法」について研究を行いました。具体的にはエッチングやフォトリソ等を使ってシリコンや樹脂を加工し、細胞を計測できるようなマイクロ流路・孔を形成するといったものです。

さて、先に述べましたが、現在は学生時代と打って変わった事をやっております。入社時、小寺研が薄膜の研究もやっていたこともあり、第一志望として太陽電池の研究開発を希望していたのですが、第三志望であった複写機の設計開発に配属が決まり、現在に至っています(シャープって複写機作ってたの?と思われる方が多いと思います。業務用のコピー機を作っています。身近なところではファミリーマート等のコンビニに置いてあります)。いざ配属されると、今まで経験したことのないメカニク的な仕事が多く、ほぼゼロからのスタートのような感じでした。最初は生産応援から始まり、現在の日々の業務は、CADを用いての設計、問題点の対策考案、製品の量産化までのフォロー、実験方法の考案から評価、製品へのフィードバックなど多岐に渡ります。複写機はデリケートであるため、少しの外乱が画質に大きな変化を与えます。それを如何に最小限に抑えてうまくまとめあげるかが重要になってきます。例えば空気の流れを形状を工夫して上手く制御したり、機械的条件を最適化して感光体をクリーニングしたり等、様々な設計上のノウハウがあります。最近ではようやく設計に必要なスキル(=ただCADで描くというのではなく、要点を押さえた考え方ができるようになってきたと自負しております。複写機の設計には静電気学・熱力学・材料力学・流体力学・機械設計の知識といったように、工学部で習ったことを駆使しますので、いろいろ

やりたい、あるいは複雑な機構に興味のある方に特にオススメの分野です。

さて、社会人と学生時代との大きな違いですが、やはり要求されるスピードが違うということです。このペースで学生時代研究をしていたらすごいことになったのでは?というくらいの感覚で日々が流れて行き、気が付いたら4年近く経っていたような感じです。色々ありましたがこの会社に入って本当に良かったと思います。

今までどのようなことに苦労したかを踏まえ、学生のみなさんへのアドバイスをさせて頂きたいと思います。それは、「ほうれんそう(報告・連絡・相談)」すなわち、上司あるいはチーム内で報告・相談することの重要性です。昔から非常に良く言われていることですが、社会人となって痛感したことです。これが業務のスピードにダイレクトに影響してくるのです。自分の場合、課題を自分の考案した方法で解決したら満足し、つい報告を怠ってしまい、情報のやり取りが不十分で終わりがちでした。結果、些細なことでも報告せずにいると、全体の業務のスピードが落ちるのです(気づくのが遅すぎですが・・)。それではいけないと思い、最近ではなるだけ報告をするようになりました。特に上司と無理に仲良くしようという意味ではありません。社会人として必要最小限なことなのですが、自分にとって一番困難だったと思うので、早い段階で、しつこいくらいに実践して頂いたほうが後々必ず有利になります。

話は変わりますが、入社して良かったことに、フランスに出張させてもらえたことがあります。10日間でしたが上手い具合に現地での3連休を挟んだので、パリとスイスに旅行することができました。特に夏のパリの街並みは最高でした。フランスの公用語はもちろん仏語ですが、やはりどこへ行っても英語が話せる分だけ自由度が高まると言った感じで、仕事にも遊びにも素晴らしく役立ちます。皆さんもTOEICなどを学生時代から高得点を目指して取り組まれるとかなりのアドバンテージになるのではないのでしょうか。

最後に、就職活動をされる学生の皆様にひとこと。企業の特徴をしっかりと把握した上で(できれば福利厚生等の面も調査すると良いです)、悔いの残らないように頑張ってください。尤も転職という道もありますので、何事も楽観的に行きましよう。以上、最後までお読み頂きありがとうございました。

吉村允孝教授最終講義のご案内

日時：平成21年3月30日(月)13：30～15：30
会場：京都大学工学部物理系校舎313講義室
講演「モノづくりにおける革新と調和」

昭和42年卒同窓会のご案内

学部卒業42年、修士卒業40年の今年、全国の同期の合同行事「竹生島クルーズ」を計画しております。ふるってご参加下さい。ご家族のご参加も大歓迎です。

1. 月日：平成21年11月21日(土)～22日(日)
2. 場所：琵琶湖、竹生島、長浜近辺
3. 計画概要：1日目の午後に琵琶湖西岸の今津に集合して、琵琶湖の観光船に乗って、竹生島経由で長浜までクルーズ。夜は長浜近辺の温泉宿で宿泊、懇親会。2日目は周辺の観光あるいは工場見学(ご希望に応じて)
4. 費用：約2万円/人(乗船料・宿泊費・懇親会費込)
計画が進んだ段階で再度ご案内いたします。
5. 連絡先：学年代表幹事 藤川 卓爾(九州支部長)

昭和54年卒同窓会のご案内

今年は卒業30周年になります。これを記念して久しぶりに同窓会を企画しました。ぜひご参加下さい。

日時：平成21年5月30日(土)午後2時より
場所：ホテルグランビア京都(京都駅ビル)
3階「今昔の間」
会費：10000円(予定)
申込先：山口希利子 TEL:075-753-4835
問い合わせ先：北條 坂口

●学年&研究室同窓会開催案内や掲示板としても 京機会ニュースをご利用下さい!

立花研同窓会

平成20年11月16日(日)に立花研の同窓会を新任の市川助教の顔見せを兼ねて京大会館にて執り行いました。過去の研究室の教員である中村先生、土井先生や立花研の卒業生だけでなく、立花先生のご家族もお越しになりました。昔話に花が咲きあつという間に時が過ぎていきました。今後も立花研の同窓会は定期的に行われる予定ですので、

今後都合が合えば参加して下さい方は世話人まで連絡先をお伝えいただければと思います。

立花、瀬波、市川

50年会(S25卒) 2008年秋季例会

日時：平成20年10月20日

場所：(社)大阪倶楽部 出席者：7名

仲秋の候、秋季例会は予定通り大阪倶楽部で開催された。今回は食事を挟みながら、出席者全員のフリートーキングで、日常生活、健康に関する問題並びに対処方法、余生を有意義に過ごすための活動等多方面から面白い話を聞くことが出来た。また五十年会会員は2年後の2010年に卒業60周年を迎える。お互いに健康面に欠陥が出てくる人も増えて来ており、今後の例会をどうするかについても話し合った。アンケート方式で全員の意見を聞き次回の例会で結論を出すことにした。

その他、会員の動向、京機会の情報等を報告、次回は平成21年5月11日(月)大阪倶楽部で開催することを決め、散会した。(小澤記)



前号に掲載できませんでしたが、50年会春季例会は、平成20年5月12日に大阪倶楽部で開催されました。



京機22年会クラス会

日時：平成20年10月30日 場所：京都新阪急ビル
参加人数：会員16名 夫人4名 計20名

本年春死去された森美郎名誉教授の死を悼み、黙祷後、各人の日常生活の報告を中心に自由スピーチが3時間にわたって行われ、充実した会合となった。今後の予定としては、春：大阪、秋：京都の会場で年2回の定例クラス会を行うことを確認した。(岸本記)



洛友会（昭29年卒）総会

日時：平成20年5月26日

場所：宝塚温泉「若水」 16名参加

関東から2名の参加を得て、第54周年総会を開催。近況等歓談した。卒後50数年ともなれば、夫々健康的にも問題があり、次回をもって一旦区切りをつけ、その後の運営については、改めてという事になった。



泰山会（昭和31年卒）総会

平成20年度泰山会総会を10月23日神戸で16名の参加を得て開催。メリケンパークの「海洋博物館」と「カワサキワールド」を見学後、遊覧バスで市内名所を一巡してメリケンパークに戻り、「神戸港震災メモリアルパーク」で保存展示されている岸壁の地震による崩壊状況を前に自然の猛威を改めて実感。1日目の見学を終え突堤先端の展望が売り物のオリエンタルホテルで夕刻より会食、恒例のミニスピーチを手始めにその後は一同尽きぬ話題で楽しい一夕を過ごしました。（友田記）



昭和43年卒同窓会

日時：平成20年10月18日～19日 場所：京都

日々秋らしさを感じる10月中旬に43年卒の同期が京都に総勢39名（奥さま参加1人含む）が集合して、一日目は、近い将来、機械系が移転する予定の桂キャンパスの見学を行ないました。桂キャンパスでは電子掲示塔で「京機会43年同期会歓迎」の大きな文字で大歓迎を受けて見学が始まり、学食で昼食をとった後、生徒、先生方の案内でほぼすべての校舎と主な実験設備の説明を受けました。桂キャンパスの関係者の方々のご協力と橋君、吉村君の尽力により非常に有意義な見学会になりました。夜は22時ごろまで弥生会館で懇親

会、2次会と積もる話に花をさかせました。翌日は秋晴れのもとトロッコ列車と保津川下りを楽しみ、嵯峨野で昼食をとった後お開きとしました。

二日間の同期会は学生時代を彷彿とさせるとともに秋の京都の体験という思い出多い同窓会となりました。（平田記）



昭和58年卒同窓会

平成20年11月22日にホテルグランヴィア京都で'83卒の同窓会を開催しました。苫小牧から下関まで遠方からの参加者もあり盛会でした。当日の様子は、<http://www.users.kudpc.kyoto-u.ac.jp/~e52841/dosok.html> にアップしてあります。

次回は2010年10月に予定しています。（今谷記）



第3回みそか会(河本研究室同窓会)

河本研究室同窓会を継承する第3回みそか会が、平成20年12月29日にホテルグランビア大阪19階アブで12名が集まり開催されました。小浜氏の乾杯発声で宴が始まり、話が弾みました。久しぶりの顔合わせで積もる話を交わしたりして3時間ほど瞬く間に過ぎました。この会は前年の案内に対し回答を頂いた方に、幹事から案内する形で運営されています。平成21年も12月29日に同場所で行います。ご関心の方は幹事にご連絡下さい。



京機23年会

日時：平成20年11月11日(火) 12時～15時

場所：京都センチュリーホテル 出席者：11名

今年は卒業60周年の記念クラス会で、出席者が少しでも増えればと期待したが、高齢化での体調不良者は着実に増え、故田中吉之助(京大名誉教授)君の令夫人の出席をお願いしたので、かろうじて昨年と同人数であった。田中君は我々の学生時代の3年間クラスの代表として全員のお世話頂いた思い出があり、昨年のクラス会の前日に脳内出血で入院され、今年8月17日に逝去された。当日は奥様から直接ご病状の経過をお聞きし、さらに出席者より彼との交友の数々が語られ、戦後直ぐの学生生活が再び蘇った。飲み放題のアルコールも元を取れなくなりつつあるが、喋りの潤滑効果は認められた。各人よりの近況が話されたが、理学、工学の両博士号を持つ伊原君がこれから地震学に挑戦すると言う元気を除いては、如何に健康を維持するか、そのためにはカラオケなど声を出す事や、筋肉増強の体操などまだまだ元気で過したいとの執念が心強かった。それにしても広島からの遠藤君を除けば、あとは京阪神在住者で、遠距離からの参加は無理になりつつある現実は何ともし難いようである。

次回も平成21年11月11日(水)に実施するので、多くの方の御出席を期待しています。(西岡記)



第13回佐々木研最後の教職員を囲む集い

11月14～15日、デンソーの幸田工場の見学を行った後、蒲郡温泉で第13回の例会を行いました。竹島を眼前に望む「ホテル竹島」に今迄で最高の総勢34名が集まりました。三河湾に沈む夕日を望む絶好のロケーションと温泉を楽しみながら歓談に花を咲かせました。最後に「三高寮歌」と「琵琶湖就航の歌」をみんなで合唱し、来年の神戸での再会を期して解散しました。(宇野記)



<京機会ニュース記事投稿のお願い> 会員のページの原稿字数は150字以内(厳守)でお願いいたします。紙面の都合により事務局にて文章を省略させていただくことがあります。また、お送りいただいた写真は返却いたしません。ご了承下さい。画像ファイルも可能です。次号(2009秋号No. 25)の締切は12月末日です。編集担当:松原 厚、蓮尾昌裕、小森雅晴、段 智子

巻末によせて… 京機会からのメッセージ

お金というものは、本来、人間の活動を助ける道具として、信用に基づく共通価値認識の存在の上に作られた、それ自体は生物としての人間が生きてゆくのに直接関係を持つものでは無いものであったが、人間の常として、目的と手段の混乱・入れ替わりが起こり、お金を集めることが目的となって、何世紀も経った。

人間の欲望に限り無く、金融なるものが、本来、実体を操作するために存在したお金を、実体と無関係な、それ自体が目的であるものにしてしまった。ネズミ講の様に、実体の裏付けのない虚の利益数値が踊りまくったが、ついに実体の裏付けのないことを隠しきれず、経済破綻。なのに、虚のお金でも実体を左右する力は残っており、ひどい不景気になってしまった今日この頃。

このような時にこそ、先輩・後輩・同窓のつな

がり、交誼が意味を持つてくるのではないのでしょうか。

京機会は、同じ機械系教室に学んだ先輩・後輩、楽しい学生時代を過ごした同窓生が、心のつながりを保って行けるベースです。

京機会運営委員会委員長 久保愛三 (S41)

版画：時計台 川合等氏 (S42) 作

